

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大通し番号
	記号	施策	一連コード	記号	内容		
理念・目的	ア	大学の建学の精神と教育理念に基づき制定された入学者受入れの方針（AP）、教育課程編成・実施の方針（CP）及び卒業認定・学位授与の方針（DP）が関連し運用されているかを検証し、不断に見直していく。	1	ア	大学の建学の精神と教育理念に基づき制定された入学者受入れの方針（AP）、教育課程編成・実施の方針（CP）及び卒業認定・学位授与の方針（DP）が関連し運用されているかを検証し、不断に見直していく。	経営会議	10
	イ	大学の理念や教育目的について、ホームページ上で公表するとともに、全教職員会議や学生ガイダンス等の機会を通じて周知する。	960	イ	全教職員会議において本学の経営状況の報告を行い、教職員の経営意識の醸成、共有化を図る。	事務局(総務課)	20
	ウ	秋田キャンパスの運営の基本目標と方向を定め、その実現のための中期計画を定め、全学的な取り組みを推進していく。	10	ウ	秋田キャンパスのグランドデザインを公表するとともに、地域の関係機関・団体に周知する。	学長政策室	30
内部質保証	ア	内部質保証については、「日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学内部質保証委員会規程」に基づき、全学レベル、学科・プログラムレベル、科目レベルでシステムを整備し、内部質保証体系図として取りまとめ、教職員間で共有し、自己点検・評価を実施している。今後、機関別認証評価を念頭に、中期計画の体系に基づく自己点検・評価方法への見直しを進める。	1110	ア	新たな自己点検方式を導入し、点検を行う。	学長政策室	40
	イ	教育、研究、社会貢献及び大学運営に係る内部質保証システムについて、関連規程等に基づきPDCAサイクルの運用を統括し、毎年度その点検・評価の結果を公表する。	20	イ	自己点検・評価シートを作成する。	内部質保証委員会	50
	エ	経営会議は、内部質保証委員会から各レベルのPDCAサイクルの実施状況の報告を受けるとともに、各委員会等に対して、必要な改善指示等を行う。	30	エ	経営会議は、全学のPDCAサイクルの実施状況を検証し、改善に向け、各委員会等に指示等を行う。	経営会議	60
	ウ	内部質保証システム、全学的な体制、AP、CP及びDP、関連規程について、その適切性・妥当性を点検・評価し、改善・向上に向けて取り組む。	25	ウ	内部質保証システム、全学的な体制、AP、CP及びDP、関連規程について、その適切性・妥当性を点検・評価し、改善・向上に向けて取り組む。	学長政策室	70
	オ	体系的・段階的・継続的なFD・SD研修会の企画・開催及び他機関が開催する研修会の情報提供や参加を奨励することにより、大学運営に必要な知見の獲得等、教職員の資質の向上を図る。	1060	オ	組織的かつ多面的なFD及びSD活動の実施に向けて、教育の質保証に関する全学的なニーズを把握し、委員会組織を超えた自由度の高い研修会を共同で開催する。	FD・SD委員会	90
1060	カ		全教職員それぞれが抱える問題点を踏まえ、年度ごとに体系的なFD・SDを実施する。	FD・SD委員会	90		
1060	キ		SD研修会において、財務や運営、大学改革、学生確保に向けた方策など大学の経営的な視点から研修を実施し、持続可能性の観点から本学の教職員が目指すべき方向性を共有する。	FD・SD委員会	90		

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大通し番号
	記号	施策	一連コード	記号	内容		
内部質保証	ク	学内外のIRに関するデータの収集・管理・分析を行う。また、分析結果を活用できるよう働きかけを行い、意思決定や計画策定等、PDCAサイクルが機能できるように支援する。	150	ク	IR推進室は、定期的なIRデータの収集、管理、分析の依頼に対応する。	IR推進室	100
教育研究組織	ア	本学の理念・目的に照らして、定期的な組織体制の見直しを実施する。	927	ア	本学の理念・目的に照らして、定期的な組織体制の見直しを実施する。	学長政策室	110
	イ	地域共生センター（仮称）の設置に向けて取り組む。	870	イ	地域共生センター（仮称）の基本構想の検討を開始する。	学長政策室	120
	ウ	社会の要請に応える教育を展開していくために、教育に関する情報の恒常的な把握に努め、学生が教育を受ける機会を保証する。	160	ウ	教学マネジメント会議の運営においてIR情報を活用した教育研究活動の検証をする。	教学マネジメント会議	130
			160	エ	教学マネジメント会議の運営において、アセスメントプラン踏まえたDP、CP、APの適切性に係る検証をする。	教学マネジメント会議	130
	エ	短期大学の教育課程の編成に関する方針及び教育の質の向上について検討するとともに、教育研究組織を定期的に点検・評価して、その結果を基に改善・向上に向けて取り組む。	180	オ	教育指導の実践・結果・評価の有機的な展開に向けて、FD・SD研修の評価事業を企画し、運営する。	教学マネジメント会議	140
教育課程・学習成果	ア	理念・目的を実現するため、体系的・組織的な教育課程の編成を検討する。	275	ア	本学の理念・目的を実現するため、体系的・組織的な教育課程の編成を検討する。	教務委員会（短大）	150
	イ	介護福祉のDXに対応した人材育成のあり方について検討し、教育の方向性を定める。	280	イ	介護福祉のDXに対応した人材育成の教育の方向性についての基本方針を決定する。	教務委員会（短大）	160
	ウ	地域包括ケアの担い手として活躍できる人材育成のあり方について検討し、教育の方向性を定める。	360	ウ	地域包括ケアの担い手として活躍できる人材育成の教育の方向性についての基本方針を決定する。	教務委員会（短大）	170
			360	エ	看護学科との合同シンポジウムを開催する。	教務委員会（短大）	170

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大 通し 番号
	記号	施策	一連 コード	記号	内容		
教育課程・学習 成果	オ	グローバルに活躍できる人材育成のあり方について検討し、教育の方向性を定める。	420	オ	グローバルに活躍できる人材育成の教育の方向性の基本方針を決定する。	教務委員会 (短大)	180
	カ	赤十字の特色を生かした教育課程の編成を検討する。	380	カ	赤十字の特色を生かした教育課程編成についての基本方針を決定する。	教務委員会 (短大)	190
		赤十字マイスター（仮称）認証制度を創設する。	550	キ	赤十字関連科目の単位を全て取得し、赤十字教育委員会が定めた活動の参加状況を点数化し、一定の点数に達した学生を表彰する。	赤十字教育委員会	200
	キ	赤十字の理念の理解と実践を促進する学校行事を開催する。	530	ク	国内外の人道危機等に関する講演会を実施する。	赤十字教育委員会	210
			530	ケ	災害看護学等の科目と連携し、全学的に災害救護訓練を実施する。	赤十字教育委員会	210
			530	コ	国際活動豊富な講師による講話を聴いたり、レイド・クロス等を用いて赤十字の原則に基づいた行動規範を学ぶ。	赤十字教育委員会	210
			530	サ	学生がイタリア・スイスを訪問し赤十字に関連した史跡等を視察したり、ICRC、IFRCの本部をはじめ国際機関を視察する。	赤十字教育委員会	210
			530	シ	オーストラリア又は北米で英語の語学研修を実施する。	赤十字教育委員会	210
			530	ス	春と冬にキャンプを通して防災・減災の知識とスキルを学ぶ。	赤十字教育委員会	210
	ク	学生の学習を活性化し、学修者本位の効果的な教育を行うための様々な措置を講じ、成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行う。	243	セ	学生の学習を活性化し、学修者本位の効果的な教育を行うための様々な措置を講じ、成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行う。	教務委員会 (短大)	220

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大 通し 番号
	記号	施策	一連 コード	記号	内容		
教育課程・学習 成果	ケ	アクティブ・ラーニング、双方向型授業の実施による成果を検証し、更なる教育改善に繋げる。	310	ソ	アクティブラーニング型授業の実施率を維持する。	教務委員会 (短大)	230
			310	タ	アクティブラーニング型授業の成果の検証方法を検討する。	教務委員会 (短大)	230
	コ	卒業認定・学位授与の方針に示した学生の学習成果を適切に把握し評価する。	260	チ	基本方針および学修成果の測定指標を決定する。	教務委員会 (短大)	240
	サ	CAP制やGPA制度の実施が学習成果の向上に結びついているかを検証し、その結果を踏まえて必要な改正をする。	250	ツ	CAP制度やGAP制度の実施が学習成果の向上に結びついているかの検証方法について具体的な検証方法を検討する。	教務委員会 (短大)	250
	シ	学習成果を総合的に把握できる体制を構築する。	620	テ	基本方針および学修成果の測定指標を決定する。	教務委員会 (短大)	260
	ス	教育カリキュラムを定期的に点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組むことで、教育の質を担保する。	170	ト	教学マネジメント会議を踏まえた「学習成果の可視化」に関する系統立てた研修を、引き続き行う。	教学マネジメント 会議	270
			170	ナ	学生自身の学修の振り返りの促進、授業改善の促進を図るために、教員自身による授業の達成状況を点検・改善するツールとして導入したティーチング・ポートフォリオ(TP)を、引き続き活用していく。	教学マネジメント 会議	270
	セ	大学運営に関する重要事項について、「外部有識者会議」の委員から聴取した意見を関係部署へフィードバックし、課題を改善する仕組みを構築する。	950	ニ	「外部有識者会議」において聴取した意見を、大学運営に反映する仕組み作りに着手する。	事務局(総務 課)	280
	ソ	学修者本位の教育の実現に向けて、学生が学習の成果を実感できる仕組みを構築する。	245	ヌ	学修者本位の教育の実現に向けて、学生が学習の成果を実感できる仕組みを構築する。	教務委員会 (短大)	290
	タ	社会人学生に対する教育のあり方について検討する。	400	ネ	社会人学生に対する教育のあり方について基本方針を決定する。	教務委員会 (短大)	310

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画			短大 通し 番号
	記号	施策	一連 コード	記号	内容	担当委員会	
学生の受け入れ	ア	理念・目的を実現するため、入学者受入れの方針を適切に公表する。	135	ア	本学の目的を実現するため、入学者受入れの方針を適切に公表する。	入試・広報委員会(短大)	330
	イ	アドミッション・オフィサー等を配置した効果等、入学者選抜体制の妥当性を評価し、経営会議に対して報告する。	140	イ	入試選抜制度の点検分析を行う。	入試・広報委員会(短大)	340
			200	ウ	I R分析検証を報告する。	入試・広報委員会(短大)	340
	ウ	入学者選抜制度の妥当性を点検・検証し、次年度以降の制度の検討・変更に反映させる。	80	エ	入学者選抜制度を点検する。	入試・広報委員会(短大)	350
	エ	入学定員に対して、入学者を適正に確保するとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理する。	145	オ	入学定員に対して、入学者を適正に確保するとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理する。	入試・広報委員会(短大)	370
	オ	学園本部の広報戦略を踏まえ、本学の広報方針の策定を検討する。	970	カ	広報戦略検討部会の検討内容を整理する。	事務局(入試・広報課)	380
	カ	オープンキャンパス開催、合同説明会への参加及び高校訪問等、学生募集のための広報活動を強化する。	60	キ	オープンキャンパスを実施する。	入試・広報委員会(短大)	390
			60	ク	合同説明会に参加する。	入試・広報委員会(短大)	390
			60	ケ	指定校訪問を実施する。	入試・広報委員会(短大)	390
	キ	高大連携協定高校への取り組みを充実し、本学入学へ誘引する。	110	コ	高大連携協定対象校を検討する。	入試・広報委員会(短大)	400

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大通し番号
	記号	施策	一連コード	記号	内容		
学生の受け入れ	キ	高大連携協定高校への取り組みを充実し、本学入学へ誘引する。	110	サ	高大連携協定校との連携事業を実施する。	入試・広報委員会(短大)	400
	ク	県内高校出身学生の確保のための取り組み策を強化する。	120	シ	指定校訪問や秋田県内の中学校・高校を対象とした学校見学を実施する。	入試・広報委員会(短大)	410
			120	ス	高校教諭を対象の説明会を実施する。	入試・広報委員会(短大)	410
			120	セ	中学生高校生対象の説明会を実施する。	入試・広報委員会(短大)	410
			120	ソ	高大連携協定対象校を検討する。	入試・広報委員会(短大)	410
教員・教員組織	ア	理念・目的を実現するため、「日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学がめざす教職員像」を教職員間で共有するとともに、教員配置計画を策定し、適正な教員の配置及び昇任等を行う。	1070	ア	教員及び事務局職員の配置計画策定作業を開始する。	学長政策室	420
	イ	体系的・段階的・継続的なFD・SD研修会の企画・開催及び他機関が開催する研修会の情報提供や参加を奨励することにより、大学運営に必要な知見の獲得等、教職員の資質の向上を図る。	1060	イ	組織的かつ多面的なFD及びSD活動の実施に向けて、教育の質保証に関する全学的なニーズを把握し、委員会組織を超えた自由度の高い研修会を共同で開催する。【再掲】	FD・SD委員会	430
			1060	ウ	全教職員それぞれが抱える問題点を踏まえ、年度ごとに体系的なFD・SDを実施する。【再掲】	FD・SD委員会	430
			1060	エ	SD研修会において、財務や運営、大学改革、学生確保に向けた方策など大学の経営的な視点から研修を実施し、持続可能性の観点から本学の教職員が目指すべき方向性を共有する。【再掲】	FD・SD委員会	430
ウ	ティーチング・ポートフォリオ(TP)の作成による教育の質向上を目指し、様式の整理による教員の作成率の向上を図る。	210	オ	TP作成要領見直しの検討会議を開催をする。	内部質保証委員会	440	

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大通し番号
	記号	施策	一連コード	記号	内容		
教員・教員組織	ウ	ティーチング・ポートフォリオ（TP）の作成による教育の質向上を目指し、様式の整理による教員の作成率の向上を図る。	210	カ	TP作成・活用に関する研修を開催する。	内部質保証委員会	440
			210	キ	TPの作成を推進する。	内部質保証委員会	440
	エ	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組む。	925	ク	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行い、その結果を基に改善・向上に向けて取り組む。	学長政策室	450
学生支援	ア	理念・目的を実現するため、学生支援に関する方針を明示し、修学支援、生活支援、進路支援等学生支援を適切に行う。	605	ア	本学の理念・目的を実現するため、学生支援に関する方針を明示し、修学支援、生活支援、進路支援等学生支援を適切に行う。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	470
	イ	学修支援の一助として、大学独自の給付型奨学金制度等の導入について検討する。	640	イ	学修支援の一助として、大学独自の給付型奨学金制度などの導入可否について検討を開始する。	学長政策室	480
	ウ	自主学習支援の体制について評価し、更なる体制強化を目指す。	510	ウ	自主学習支援のあり方についての基本方針を決定する。	教務委員会(短大)	490
	エ	教育上の合理的配慮を要する学生への支援体制を整備する。	610	エ	教育上の合理的配慮を要する学生の支援方法についての基本方針を決定する。	教務委員会(短大)	500
	オ	学習環境に係る全学的な整備状況の把握及び整備要望を下に、経営会議において必要な整備について協議する。	470	オ	学習環境整備（施設・設備、学習・情報資源）と学生支援に関する検証と整備要望の取りまとめを行う。	学学マネジメント会議	510
	カ	特待生制度について検証を行う。人間関係、日常生活上のトラブル、あるいは障害等の個人特性等、多様な要因によって生じる生活上の困りごとに対して、重層的な相談体制の充実を図る。	670	カ	特待生制度の検証方法についての基本方針及び目標達成度の測定指標を決定する。	教務委員会(短大)	521
	キ	特待生制度について検証を行う。人間関係、日常生活上のトラブル、あるいは障害等の個人特性等、多様な要因によって生じる生活上の困りごとに対して、重層的な相談体制の充実を図る。	630	キ	学生生活相談状況調査の実施による実態を把握する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	521

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大 通し 番号
	記号	施策	一連 コード	記号	内容		
学生支援	キ	特待生制度について検証を行う。人間関係、日常生活上のトラブル、あるいは障害等の個人特性等、多様な要因によって生じる生活上の困りごとに対して、重層的な相談体制の充実を図る。	630	ク	学生生活相談の実施フローを整理する。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	521
			630	ケ	入学時早期に学生生活の円滑化を図るための新入生交流会を実施する。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	521
	ク	奨学金の情報提供と手続きの支援及び卒業後の返済に向けた相談体制の充実を図り、安定した学生生活の実現に努める。	680	コ	各種奨学金の情報提供を実施する。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	530
			680	サ	奨学金に関する総合相談を実施するとともに相談実績を把握する。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	530
			680	シ	奨学金相談マニュアルを策定する。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	530
			680	ス	本学奨学金の貸付を行う。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	530
	ケ	学生が希望する進路選択を実現するために、1年次からのキャリア形成支援を充実する。	690	セ	1年次生対象キャリア支援講座を実施する。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	540
			690	ソ	1年次年度末時点の進路希望調査を実施し、実態を把握する。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	540
	コ	出身地で就業を希望する学生に対して適切な進路選択ができるよう支援する。	740	タ	県内介護事業者の合同就職説明会を実施する。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	550
			740	チ	進路希望調査を定期的実施し、実態を把握する。	学生活動・キャリア支援委員会 (短大)	550

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大 通し 番号
	記号	施策	一連 コード	記号	内容		
学生支援	コ	出身地で就業を希望する学生に対して適切な進路選択ができるよう支援する。	740	ツ	秋田県・秋田県社会福祉協会等主催の就職支援事業の情報提供と参加を呼びかける。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	550
			740	テ	『進路のてびき』を用いての就職活動準備講座(履歴書・面接等)を開催する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	550
	サ	赤十字の理念に共鳴し、赤十字関連施設へ介護福祉士としての就職を希望する学生を支援する。	750	ト	赤十字関連施設合同就職説明会を実施する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	560
	シ	学友会等の自主的な学生の課外活動の充実を図る。	770	ナ	学友会主催行事の学生全体への参加呼びかけに協力する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	570
			770	ニ	学友会役員候補者選出の呼びかけを行う。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	570
			770	ヌ	学友会主催行事企画段階での役員会との合同会議を実施する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	570
			770	ネ	学友会主催行事実施に係る財政的支援を実施する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	570
			770	ノ	ボランティア活動等の紹介・調整のための窓口設置を検討する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	570
	ス	学生の課外活動実績が、各自の卒後キャリアに活用できるように支援する。	780	ハ	課外活動の実態把握のための調査を実施する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	580
			780	ヒ	個別課外活動のキャリア活用に資する実績シート等を検討する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	580

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大通し番号
	記号	施策	一連コード	記号	内容		
学生支援	セ	同窓会と定期的に情報共有して協力し、短大卒業生と在學生や教職員との繋がりを強化する。	890	フ	同窓会と学部・学科と合同で連携会議を定期的に開催する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	590
			890	ヘ	入学時及び卒業時に、学生に対して同窓会案内の機会を提供する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	590
			890	ホ	2年次前期に、卒業生を招いての就職・進路ガイダンスを実施する。	学生活動・キャリア支援委員会(短大)	590
	ソ	赤十字に関する情報発信やサークル活動の支援等、学生の赤十字の理念の理解と実践を促進する。	540	マ	地域の様々な災害等に対する学生ボランティア活動を行うために赤十字防災ボランティア・ステーションを運営する。	赤十字教育委員会	600
			540	ミ	教職員が日本赤十字社が実施する救急法救急員の研修を受講する際の費用を補助する。	赤十字教育委員会	600
教育研究等環境	ア	理念・目的を実現し、学生の学習及び教員による教育研究活動を十分に行うことができるよう、教育研究等環境の整備に関する方針を明示する。	1035	ア	本学の理念・目的を実現し、学生の学習及び教員による教育研究活動を十分に行うことができるよう、教育研究等環境の整備に関する方針を明示する。	経理課	610
	イ	教育研究環境に関する整備計画を策定し、計画的に研究活動を促進する環境を整備する。	480	イ	外部資金獲得支援に係る研修会(動画講座、オンライン研修)を開催するとともに、・科研費申請レビューを支援する。	教育研究開発委員会	620
			480	ウ	教員に研究助成の公募について周知するとともに、研究助成応募へのインセンティブについて検討する。	教育研究開発委員会	620
			480	エ	よろずカフェを開催する。	教育研究開発委員会	620
			480	オ	紀要の発刊、投稿数の増加に向けたニーズ調査を行う。	教育研究開発委員会	620

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大通し番号
	記号	施策	一連コード	記号	内容		
教育研究等環境	イ	教育研究環境に関する整備計画を策定し、計画的に研究活動を促進する環境を整備する。	520	カ	教育研究環境に関する整備計画を策定する。	事務局(経理課)	620
	ウ	危機管理基本マニュアル等の更新・見直しを行うとともに、緊急連絡網(メールシステムを含む。)伝達訓練と避難訓練を実施し、災害等に対する危機意識の向上を図る。	1010	キ	防災訓練や安否確認訓練を行う。	危機管理委員会	630
			1010	ク	各種管理マニュアルを点検し、必要な改正を行う。	危機管理委員会	630
	エ	学習環境に係る全学的な整備状況の把握及び整備要望を下に、経営会議において必要な整備について協議する。	470	ケ	学習環境整備(施設・設備、学習・情報資源)と学生支援に関する検証と整備要望のとりまとめを行う。【再掲】	教学マネジメント会議	640
	オ	図書館、学術情報サービスを提供するための体制を整備し、教育研究活動の促進を図る。	465	コ	図書館、学術情報サービスを提供するための体制を整備し、教育研究活動の促進を図る。	教育研究開発委員会	650
	カ	時代の変化に即し、関係法令や倫理指針等を遵守した研究を適切に推進する。	990	サ	著作権利用に関する研修会を開催する。	教育研究開発委員会	660
			990	シ	研究不正防止に関する研修会を開催する。	教育研究開発委員会	660
			990	ス	研究倫理教育を行う。	教育研究開発委員会	660
	キ	研究費の不正使用や研究不正を防止する。	1000	セ	個人研究費等の執行手続きの見直しを実施する。	事務局(経理課)	670
	ク	本学独自のDX推進計画を策定し、情報セキュリティに関する意識の向上を図る。	500	ソ	学内各種提供サービスの実態を把握する。	情報システム委員会	680

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大通し番号
	記号	施策	一連コード	記号	内容		
教育研究等環境	ケ	安全安心な情報システムの利用のためのマニュアルを作成し、情報セキュリティに関する意識の向上に努めながら、事務の効率化など、不断の業務の改善を進める。	490	タ	新たなインシデント個別対応「マニュアル」の作成にあたり、本学の既存のCSIRTとの整合性を整理する。	情報システム委員会	690
			490	チ	現在、学内で運用しているシステムの状態を把握する。	情報システム委員会	690
			1020	ツ	教職員向け情報セキュリティ研修会を開催する。	情報システム委員会	690
	コ	経営会議は、教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行うとともに、その結果を基に改善・向上に向けて取り組み、関係委員会に指示する。	1038	テ	経営会議は、教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行うとともに、その結果を基に改善・向上に向けて取り組みを関係委員会に指示する。	経営会議	700
社会連携・社会貢献	ア	理念・目的を実現するため、社会連携・社会貢献に関する方針を明示する。	805	ア	本学の理念・目的を実現するため、社会連携・社会貢献に関する方針を明示する。	地域貢献委員会	710
	イ	「大学コンソーシアムあきた」の事業活動に積極的に参加する(単位互換授業の提供科目の拡大)とともに、受講状況及び受講者アンケート結果を学内に周知し、事業に対する全学的な意識の向上を図る。	910	イ	高等教育セミナーを実施する。	FD・SD委員会	720
			910	ウ	単位互換授業を実施する。	FD・SD委員会	720
			910	エ	高大連携協定締結校に対する授業を行う。	FD・SD委員会	720
	ウ	地域課題の解決に向けた研究を推進する体制を整備する。	560	オ	秋田赤十字病院研究班への指導・助言(5月～12月)を行うとともに、研究支援に関する病院側のニーズを調査する。	教育研究開発委員会	730
			560	カ	地域課題に関する研究に関するニーズ調査を行う(研究手法に関する勉強会・プロジェクト編成・研究スキルなど)。	教育研究開発委員会	730

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大通し番号
	記号	施策	一連コード	記号	内容		
社会連携・社会貢献	エ	医療・福祉や災害関連のテーマで、一般市民を対象とした公開講座を実施する。	790	キ	医療・福祉や防災等に関する公開講座を開催する。	地域貢献委員会	740
	オ	社会における様々なニーズを把握し、自治体や民間団体と連携し、本学の教育、研究成果を還元する活動のあり方を検討していく。	800	ク	地域課題に関し、ニーズ把握や学外団体との連携を図る。	地域貢献委員会	750
	カ	日本赤十字社秋田県支部をはじめとする赤十字関係団体及び自治体や民間団体と連携した社会貢献活動を展開する。	820	ケ	秋田県内の赤十字施設と協力して、子どもたちが各施設の職業を体験する。	赤十字教育委員会	760
			820	コ	秋田県内の企業・自治体等と連携し、防災に関するフェス実施の準備をする。	赤十字教育委員会	760
	キ	学内で地域課題についての関連情報を共有し、行政機関等と連携しながら、大学としての取り組みを推進する。	810	サ	行政機関等との連携事業（受託事業、共同研究等）を行う。	学長政策室	770
	ク	学内施設やグラウンド等を積極的に開放する等、地域との連携を強化する。	830	シ	要望に応じて、学内施設やグラウンド等を積極的に開放し、地域との連携強化に努める。	事務局(総務課)	780
	ケ	教員の専門分野における知見を生かし、行政機関や各種団体の委員会等に積極的に派遣する。	840	ス	教員の専門分野の知見を活かし、自治体の外部委員や各種団体等の委員として積極的に教員を派遣する。	事務局(総務課)	790
	コ	行政機関、各種団体及び企業と連携を積極的に進め、連携協定を締結する。	850	セ	行政機関、各種団体及び企業と連携を積極的に進め、連携協定を締結する。	事務局(総務課)	800
	サ	教育現場からの出前授業等の要請に対し教員を派遣する。	860	ソ	県内の中学校・高校へ出前授業の案内を通知する。	事務局(入試・広報課)	810
大学運営・財務	ア	理念・目的を実現し、大学の機能を円滑かつ十分に発揮するため、大学の運営に関わる方針を明確にする。	915	ア	本学の理念・目的を実現し、大学の機能を円滑かつ十分に発揮するため、大学の運営に関わる方針を明確にする。	経営会議	840

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大通し番号
	記号	施策	一連コード	記号	内容		
大学運営・財務	イ	私立大学等改革総合支援事業の調査票の自己採点結果を踏まえ、教育や入試等の改革を推進する。	940	イ	私立大学等改革総合支援事業の各項目について自己採点を踏まえ、対応方針を決定し、関係する委員会等に指示する。	学長政策室	850
	ウ	将来の秋田キャンパスのあり方に関する検討結果を踏まえ、短期大学の名称を変更する。	1120	ウ	大学及び短大の名称変更に伴い、プロジェクト計画を策定し、関係機関や社会に周知及び関連事業等を実施する。	学長政策室	860
	エ	各委員会が所掌している「付随事業」の見直しを行う。	1050	エ	「付帯事業」の見直しを実施する。	事務局(経理課)	870
	オ	寄付金収入の増加に向けた取り組みを強化する。	900	オ	寄付を受け付ける。	事務局(経理課)	880
	カ	ハローワークや秋田県、秋田県介護福祉士会等との連携により、受託事業の拡充による財源の多様化を図る。	1030	カ	受託事業を受け入れる。	事務局(経理課)	890
	キ	法令及び自律的なガバナンス・コードを基本としてガバナンスの実効性を高め、情報公開等により大学運営の透明性を高める取り組みを推進する。	920	キ	大学・短大のガバナンスコードを点検・評価し、結果を公表する。	経営会議	900
	ク	日本赤十字社秋田県支部や病院等との人事交流の実施や日本赤十字社及び学園本部主催の職員研修に職員を派遣する。	1080	ク	日本赤十字秋田県支部との人事交流の実施するとともに、日本赤十字社及び日本赤十字学園主催の教職員研修に職員を派遣する。	事務局(総務課)	910
	ケ	教育研究活動を支援しそれを維持・向上させるため、定期的な組織体制の見直しを実施し、適切な支援組織を整備する。	930	ケ	大学・短大の組織体制を見直す。	学長政策室	920
	コ	大学の理念や教育目的について、ホームページ上で公表するとともに、全教職員会議や学生ガイダンス等の機会を通じて周知する。	960	コ	全教職員会議において本学の経営状況の報告を行い、教職員の経営意識の醸成、共有化を図る。【再掲】	事務局(総務課)	930
サ	学内におけるハラスメント防止対策や教職員の健康管理を推進する。	980	サ	ハラスメント防止対策に関する意識の啓発・向上を図るため、全教職員対象の研修会を開催する。	ハラスメント防止対策委員会	940	

日本赤十字学園第4次中期計画及び2024年度事業計画(秋田 短大)

学園大目標	中期計画			事業計画		担当委員会	短大 通し 番号
	記号	施策	一連 コード	記号	内容		
大学運営・財務	シ	働きやすい職場環境づくりを進めながら、SDGsの実現を目指す。	1090	シ	事務職員の時間外労働の削減に努める。	事務局(総務課)	950
			1090	ス	教職員の年次有給休暇取得日数の向上に努める。	事務局(総務課)	950
	ス	施設・大型設備にかかる整備計画を策定し、毎年度計画を点検しながら計画的に維持修繕や更新を実施する。	1040	セ	施設・大型設備にかかる整備計画を策定する。	事務局(経理課)	960
	セ	省エネルギー・再生可能エネルギーに配慮した設備更新を行う。	1100	ソ	省エネルギー・再生可能エネルギーに配慮した設備更新を行う。	事務局(経理課)	970